

## 2025.12.1 おかえり1年生！ようこそ1年生！

先週、義務教育学校の1年生が幼稚園に遊びに来てくれました。

好きな遊びの時間にやってきて、自然と遊びに入っています。

でも最初は「これ何？」「あそこは何歳の部屋？」「久しぶりー！」と附幼出身の子も、他園からきた子も入り混じりながら、園舎内を探検して回ります。そして、一通り見て回ると、それぞれに興味をもった遊び、場所に散らばっていきました。

昨年、附幼出身でロケットや宇宙、乗り物が大好きだった男の子は、新幹線の環境に興味津々！

「これはかがやき。こまちもあるの！ちょっと走らせてもいい？」と年中児が作った新幹線をもつと線路の上を走らせ始めます。

そして、「先生、牛乳パック使うね！」と自分の新幹線を作り始めました。それも他園から来た児童と二人で作り始めます。なにか年長の時と変わらない彼の姿がなんとも嬉しいのと同時に、新たな友達と一緒に遊びを通して楽しんでいる姿も素敵だなと見ていました。

附幼出身の子の中には、「あー！ぜにくん大きくなったね！」と大喜びする子も。去年、年長の部屋に仲間入りしたゼニガメの成長を手に取りながら感じて喜んでいました。

マフラー作りに混じったり、サッカーを年長・年中児らと一緒に楽しんだり、砂場で川を作ったり、年長保育室で一緒にダンスの曲を選んだりとみんな本当に楽しみ方はそれぞれ。1年生になってもそんなに変わらないんだなと思う反面、サッカー遊び中、幼稚園、1年生一緒にチーム分けをしようとする中で「実力がだいたい同じになるように別れようよ！」と提案するなど、園児だけでは難しいところをそっと手伝ってくれる姿は、やっぱり1年生なんだなと思うところもいろいろ見られました。

いつでも遊びにきてもいい幼稚園。

そして、その空間にはいろいろな子の「好き」がちりばめられた環境があるので、1年生の子たちがぱっときても、自分なりの「好きだな」、「心地いいな」と感じる場所・遊びを見つけることができていたのかもしれません。いつきても、どんな年齢の子がきても楽しめる幼稚園。そのような空間にこれからもなれるといいなと1年生の姿を見ながら感じました。

